



発送と郵便業務  
インサーター

# Relay™ 1000

# Relay™ 1000-R

ドキュメントインサーションシステム

## 操作ガイド

日本語版

SV63176-JA RevC

2024年7月11日

## FCC 準拠ステートメント

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。デジタルデバイスの制限事項は、機器を業務用環境で操作した場合に電波干渉から保護することを目的に定められています。この機器は無線周波の電磁エネルギーを生成、使用、および放出します。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信で電波干渉が発生する場合があります。この機器を一般家庭で使用すると、電波干渉が発生する可能性があります。そのような場合、電波干渉の修復はお客様ご自身の負担となります。

**注意：**法令準拠の義務を負う当事者からの明示的な承諾なしにこの機器を変更または改造すると、(Pitney Bowes) は機器を操作する権限を無効にする場合があります。



この機器は、該当する EU のすべての指令に準拠していることが証明されています。公式な適合宣言については、ピツニーボウズまでご連絡ください。

SV63176-JA RevC

©2005, 2016, 2024 Pitney Bowes Inc.

All rights reserved.ピツニーボウズの書面による明示的な許可がない限り、本書の一部または全部をいかなる方法においても複製することはできず、いかなる情報検索システムに保存することも、また、電子的または機械的を問わずいかなる方法においても伝送することはできません。ピツニーボウズでは、この文書の正確性および有用性を確保するため、あらゆる合理的な努力を行っていますが、誤りや脱落、あるいは弊社製品の誤用または不正使用による障害に関して責任を負うこととはできません。

製品の改良を引き続き行っているため、機器やマテリアルの仕様および性能については、予告なしに変更される場合があります。E-Z Seal は Pitney Bowes Inc. の登録商標です。

---

安全性に関する情報 .....	iii
<b>第 1 章・システムの概要</b>	
システムについて .....	1-3
システム構成 .....	1-3
コンポーネントの確認 .....	1-4
スリープモードについて .....	1-7
詳細メニューおよびオプション .....	1-8
カウンターリセット .....	1-8
用紙サイズを変更 (一部の構成では利用できません) .....	1-8
窓内の住所を移動 .....	1-9
シート二重検知をオン/オフにする .....	1-9
インサート二重検知をオン/オフにする .....	1-10
安全封かんオン/オフ .....	1-10
<b>第 2 章・システムのセットアップ</b>	
準備とシートのセット .....	2-3
電源に接続して電源を入れる .....	2-3
モイストナーの充填 .....	2-4
シートフィーダー (フィーダー A1 と A2) に シートをセットする .....	2-5
封筒フィーダー (フィーダー B) に シートをセットする .....	2-6
スタッカーの取り外し/取り付け .....	2-8
<b>第 3 章・ジョブの実行</b>	
ジョブの実行 .....	3-3
すべてのモデル .....	3-3
インサートフィーダーを使用したモデル .....	3-3
オプションの第 2 シートフィーダーを 使用したモデル .....	3-4
インサートフィーダーと第 2 シートフィーダーを 使用したモデル .....	3-5
手動フィーダー M .....	3-16

# 目次

---

## 第 4 章 • 紙詰まり解消

紙詰まり解消 .....	4-3
--------------	-----

## 第 5 章 • トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

一般的な トラブルシューティング .....	5-3
エラーメッセージ .....	5-5

## 第 6 章 • 仕様

仕様 - 米国 .....	6-3
マテリアルの仕様 - 米国 .....	6-3
システムの仕様 - 米国 .....	6-5
仕様 - グローバル .....	6-6
マテリアルの仕様 - グローバル .....	6-6
システムの仕様 - グローバル .....	6-8

## 安全性に関する情報

- システムを運転する前に、すべての指示をよく読んでください。
- 本装置は本来の目的以外に使用しないでください。
- システムは、利用しやすい壁コンセントの近くに設置してください。
- システムは、適度な通気が得られ、点検のしやすい場所に設置してください。
- この機器に付属の AC 電源コードを使用してください。
- AC 電源コードは、機器の近くにあり、適切にアースされた、利用しやすい壁コンセントに直接差し込んでください。機械を適切に接地しないと、重大な人身傷害や火事の原因となることがあります。
- AC 電源からこの機器を遮断する場合は、必ず AC／電源コードのプラグを抜いてください。
- 壁面スイッチで操作する壁コンセントや他の機器と共有する壁コンセントは使用しないでください。
- 電源コードまたは壁コンセントにアダプタープラグを使用しないでください。
- 電源コードの接地ピンを外さないでください。
- AC 電源コードを先の尖った物の上に這わせたり、家具の間に挟んだりしないでください。
- 電源コードを鋭い縁の上や家具の間に配線しないでください。電源コードが張り過ぎないようにしてください。
- ユニットが損傷した場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
- 指、髪の毛、アクセサリー、衣服などは、常に可動部分から離すようにしてください。
- 機械の使用中は、可動部分または可動マテリアルに触れないでください。紙詰まりを除く前に、機械の構造が完全に停止していることを確認してください。
- 紙詰まりしたマテリアルは、ゆっくりと慎重に取り除いてください。
- カバーを取り外さないでください。カバーの中には危険な部品が入っており、所定の訓練を受けたサービス担当者以外は触れることができません。
- 火を点けたキャンドルや煙草、葉巻などをシステムの上に置かないでください。
- 過熱を防ぐために、通気口を塞がないでください。
- 許可された消耗品のみを使用してください。

# 安全

---

- 不適切な保管状態、およびスプレー式ダスターや可燃性のスプレー式ダスターの使用は、爆発しやすい状態の原因となり、けがや物的損害が発生する場合があります。
- 可燃の表示があるスプレー式ダスターは使用しないでください。スプレー式ダスターを使用する場合は、容器のラベルに記載されている指示や安全注意事項をかならずお読みください。
- 定期的な点検をせずにこの機器を運転すると、最適な運転性能が得られず、機器の機能不良の原因となることがあります。
- 必ず、御社の労働安全衛生基準に従ってください。
- 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。危険な部分はキャビネット内に収納されています。
- コンポーネントが破損した場合や機能しない場合は、ただちにサービス担当者にご連絡ください。
- 以下については、販売元にご連絡ください。
  - 消耗品
  - マテリアル安全データシート
  - ユニットが損傷した場合
  - 必要な保守サービススケジュール



注意！オプションの第 2 シートフィーダー A2 がインストールされた Relay 1000 を移動させる前に、次を行ってください。

1. 壁のコンセントから電源コードを抜きます。
2. Relay 1000 を第 2 シートフィーダーから取り外します。持ち上げる際には第 2 シートフィーダーから完全に離脱していることを確認してください。必要に応じて、一緒に作業する人を確保してください。

# 1・システムの概要

## 目次

システムについて .....	1-3
システム構成 .....	1-3
コンポーネントの確認 .....	1-4
スリープモードについて .....	1-7
詳細メニューオプション .....	1-8
カウンタリセット .....	1-8
用紙サイズを変更 (一部の構成では利用できません) .....	1-8
窓内の住所を移動 .....	1-9
シート二重検知をオン/オフにする .....	1-9
インサート二重検知をオン/オフにする .....	1-10
安全封かんをオン/オフにする .....	1-10

このページは意図的に空白になっています。

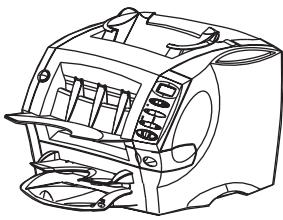
## システムについて

Relay 1000, 1000-R は郵便物の作成プロセスを高速化するコンパクトな紙折りおよび封入システムです。ユーザーによる調整部分を最小限にした直感的で使いやすいコントロールパネルを装備しています。

## システム構成

下図に示すように、Relay 1000, 1000-R には 4 つの構成があります。4 つの構成すべてで標準としてシートフィーダーと封筒フィーダーが含まれています。4 つの構成すべてがオプションの第 2 シートフィーダーを含むことができます。

構成 1



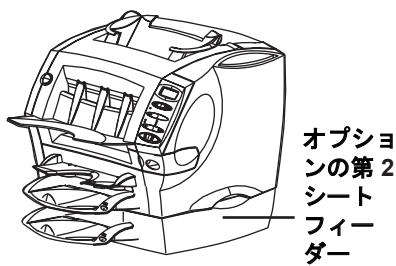
- シートフィーダー 1 つ
- 封筒フィーダー 1 つ

構成 2



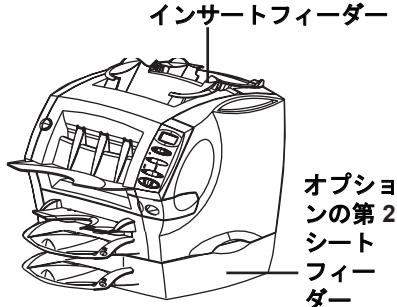
- シートフィーダー 1 つ
- 封筒フィーダー 1 つ
- インサートフィーダー 1 つ

構成 3



- シートフィーダー 1 つ
- 封筒フィーダー 1 つ
- オプションの第 2 シートフィーダー

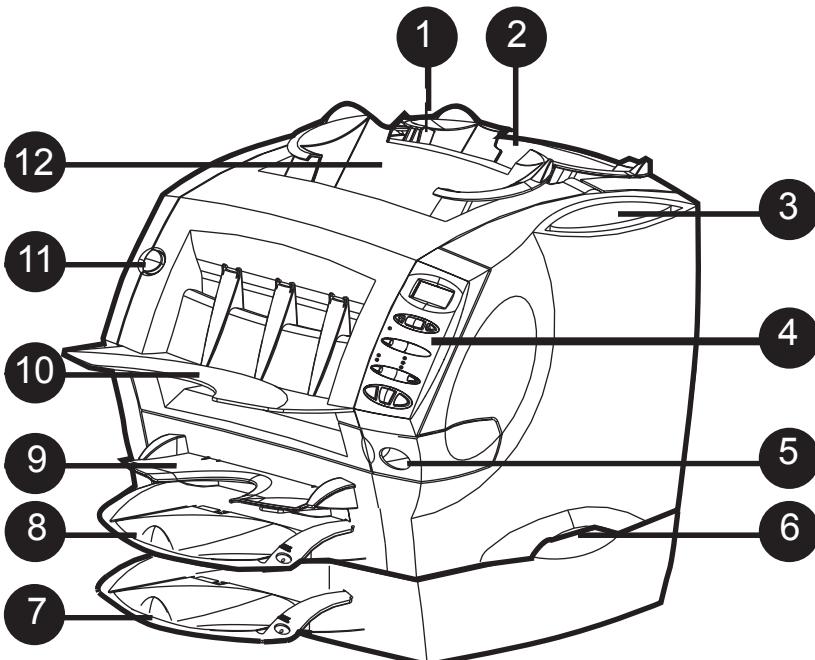
構成 4



- シートフィーダー 1 つ
- 封筒フィーダー 1 つ
- インサートフィーダー 1 つ
- オプションの第 2 シートフィーダー

# 1・システムの概要

## コンポーネントの確認



- 1 インサートカバー E リリースボタン (E と表示された青いボタン)  
詰まった紙を取り除く必要があるとき、このボタンを押してこのカバーを開くように画面に表示されます
- 2 インサートフィーダー (一部のモデルのみ)  
このフィーダーを使用して、封筒にインサートを追加します。このフィーダーからフィードした用紙をシステムで折ることはできません。このフィーダーは、折り済みインサートまたは厚手のインサートに特に適しています。
- 3 操作ガイド用スロット  
備え付けのスロットに操作ガイドを入れて必要なときに便利に利用できるようにします。
- 4 コントロールパネル  
これはコマンドの入力とステータス通知の表示に使用される場所です。各ボタンの機能に関する説明は、本章の「システムコントロール」セクションを参照してください。

## 5 モイストナータンク

このタンクには封筒のラップを湿らせて封かんするための E-Z シール<sup>®</sup> 液または水を入れます。タンクをスライドさせて右に引き出し、液を充填します。前面には、すばやく手軽に水位をチェックできる楕円形のインジケータウインドウがあります。

## 6 ハンドルの持ち上げ（各側に 1 つずつ）

Relay 1000, 1000-R を持ち上げるときは常にサイドハンドルを使用します。フィーダーまたはスタッカーを持ってシステムを持ち上げないでください。

## 7 第 2 シートフィーダー A2（オプション）

このフィーダーをシステムに追加すると、2 枚目のシートを折って封筒に入れることができます。標準のシートフィーダー A1 とまったく同じように機能します。

**重要！** シートフィーダー A1 と A2 の両方を一緒に使用する場合、常に住所が記載されたシートをシートフィーダー A2 にセットしてください。そうしないと、住所が封筒の窓から見えなくなります。シートは常に印刷面を下にして下端が先にシステムに入していくようにフィーダー A2 にセットします。

## 8 標準シートフィーダー A1

このフィーダーはシートを折って封筒に挿入することができます。シートは常に印刷面を下にして下端からフィードされるようにフィーダーにセットします。

## 9 手動フィーダー M

このフィーダーを使用してホチキス留めされた 3 枚までのシートを手動でフィードできます。システムは、ユーザーが手動で各セットをこのフィーダーにフィードするのを待って、その後にセットの紙折りや封入を自動的に行います。シートは常に印刷面を下にして下端からフィードされるようにこのフィーダーにセットします。

## 10 スタッカー

完成品がこのエリアに排出されます。

## 11 前面カバーリリースボタン（「D」と表示された青いボタン）

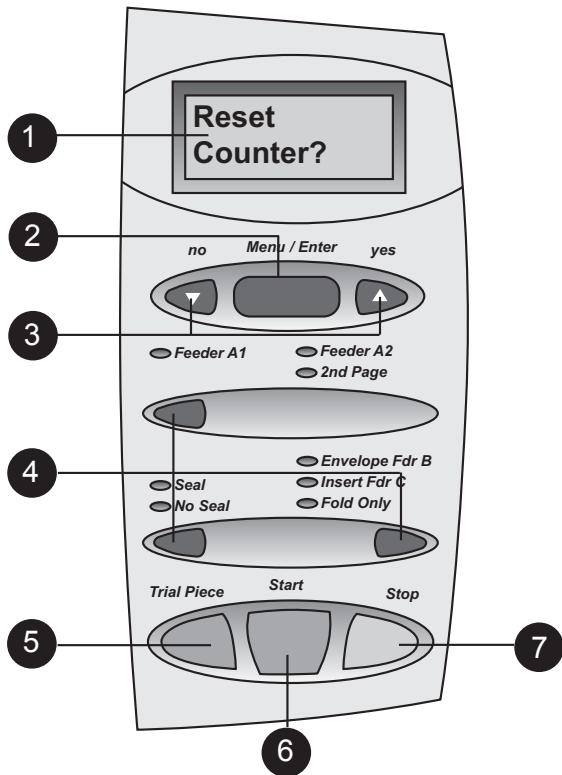
詰まった紙を取り除く必要がある場合、このボタンを押して前面カバーをリリースするように画面に表示されます。

## 12 封筒フィーダー B

このフィーダーは、他のフィーダーからのシートまたはインサートが封筒に挿入される場所であるインサートエリアに封筒を送ります。

# 1・システムの概要

## システムコントロール



### 1 表示

Relay 1000, 1000-R の現在の状態と、プロンプトやエラーメッセージが表示されます。

### 2 メニュー／Enter (詳細は「詳細メニューオプション」を参照)

このボタンを押してメニューインプションに入ります。次のオプションを使用することができます。

- ・ カウンタリセット
- ・ 用紙サイズを変更 (一部の構成では利用できません)
- ・ 窓内の住所を移動
- ・ シート二重検知をオン/オフにする
- ・ インサート二重検知をオン/オフにする
- ・ 安全封かんをオン/オフにする

3

## [はい] (▲) ボタンと [いいえ] (▼) ボタン

[メニュー/Enter] を使用してメニューに入った後は、これらのボタンを押してプロンプトやメニューオプションにより提示される設定の変更（増加または減少）に対して「はい」または「いいえ」で回答します。

4

## 選択ボタンとインジケータライト

これらのボタンを使用してフィーダーと、システムで利用可能なオプション間を移動します。

システムの構成によっては、一部のライトと関連付けられたフィーダーが操作不能な場合があります。緑色のライトはフィーダーまたは機能が使用するために選択されていることを示します。赤色のライトは機能の無効な組み合わせが選択されたことを示します。選択エラーを修正すると、ライトは緑色に戻ります。点灯していないライトはフィーダーまたは機能がオフになっていることを示します。

5

## トライアル

このボタンを押して、コントロールパネルでプログラムしたとおりの完全な丁合い済みのセットを実行します。封筒は封かんが設定されていても、ここでは封かんされません。これにより処理されたジョブを確認し、すべてが正しくインサートされ、住所が窓に表示されるように確認できます。トライアルを通じて機器自身を調整し、二重検知機能を設定する（選択されている場合）こともできます。

**重要！**トライアルの実行はシステムの動作に不可欠です。マテリアルの新しいバッチを実行する前にトライアルを行う必要があります。これにより異なるマテリアルのバッチに対してシステムが再調整されます。

6

## 開始

このボタンを押すと自動操作が開始されます。

7

## 停止

次のサイクルの終了後に [メニュー/Enter] を押して自動運転を停止します。

## スリープモードについて

アイドル状態が 10 分間継続すると、システムは省電力のスリープモードに入り、【省電力オン】と表示されます。

- いずれかのボタンを押すとスリープ状態が解除されます。
- システムは最後のジョブ設定を記憶しています。

# 1・システムの概要

---

## 詳細メニューオプション

メニューオプションをスクロールするには

- 希望のオプションが表示されるまで繰り返し【メニュー/Enter】ボタンを押します。または
- 【メニュー/Enter】ボタンを1回押して表示される各オプションに「いいえ」と回答します。
- 任意の時点で準備完了のホーム画面に戻るときは、【メニュー/Enter】ボタンを繰り返し押します。

## カウンタリセット

このオプションを使用してカウンターをゼロにリセットできます。

【メニュー/Enter】ボタンを1回押すとこのオプションにアクセスできます。画面に【カウンターをリセットしますか?】と表示されます。

- 【はい】(▲)を押すとカウンターがリセットされ、準備完了のホーム画面に戻ります。
- 【いいえ】(▼)を押すと次のメニューオプションに移動します。

## 用紙サイズを変更（一部の構成では利用できません）

このメニューオプションを選択し、実行したい用紙（シート）サイズを選択します。Relay 1000, 1000-R はレターサイズのシート（8-1/2 x 11 インチ）またはリーガルサイズのシート（8-1/2 x 14 インチ）を処理するように設定できます。

- 【メニュー/Enter】ボタンを繰り返し押して、画面に現在の用紙サイズの選択【用紙：8-1/2 x 11 変更しますか?】または【用紙：8-1/2 x 14 変更しますか?】を表示します。
- 用紙サイズを変更する場合は【はい】(▲)を押します。画面に変更の確認が表示されます。用紙サイズの設定を変更しない場合は【いいえ】(▼)を押して次のメニューオプションに移動します。
- 準備完了のホーム画面に戻るには、【メニュー/Enter】ボタンを繰り返し押します。

**重要！**セットするシートのサイズがシステムで設定したサイズと同じであることを確認してください。誤ったサイズのシートを使用すると、紙詰まりが生じます。

用紙サイズ設定はすべてのシートフィーダー（シートフィーダー A1、オプションのシートフィーダー A2（システムが装備している場合）、手動フィーダー M）に適用されることにご注意ください。



注意：同一のジョブで異なるシートサイズを混ぜないでください。紙詰まりが生じます。

## 窓内の住所を移動

このメニューオプションでは、紙折りパネルの長さを変更して、住所が封筒窓の中央に配置されるようにすることができます。1～9の数字を入力して調整を行います。数字が大きいほど、窓内で住所の位置が高くなります。画面には【移動...X】（「X」は現在の設定）と表示されます。

1. 画面に【窓内の住所を移動？】と表示されるまで、【メニュー/Enter】ボタンを繰り返し押します。
2. [はい] (▲) を押してこの機能に入ります。画面に【移動...X】（Xは現在の設定）と表示されます。[いいえ] (▼) を押すと次のメニューオプションが表示されます。
3. [はい] (▲) と [いいえ] (▼) ボタンを使用して希望の数字に設定します。
4. 希望の設定が完了したら、【メニュー/Enter】ボタンを押して確定します。その後、次のメニューオプションが表示されます。
5. もう1回トライアルを実行して確認します。
  - 住所が窓内の中央に配置されている場合、【開始】を押してジョブを実行します。
  - 住所が中央に配置されていない場合、希望の結果が得られるまで手順を繰り返します。

## シート二重検知をオン/オフにする

このオプションを使用してシートフィーダーの二重検知 (Sheet DD) をオンまたはオフにします。

- **二重検知がオンのとき** - 二重検知（1枚のみがフィードされるべき場面で2枚のシートがフィードされること）が検出されると、システムが自動的に停止します。個々に住所が記載されるシートを含むジョブを実行している場合、二重検知をオンにすることが推奨されます。
  - **二重検知がオフのとき** - システムは生じる可能性のあるすべての二重検知を無視します。メールジョブの実行中でインサートの稀な重複が許容できる場合、二重検知機能をオフにしておくこともできます。
1. シート二重検知のステータス：【シート二重検知がオン（オフ）。変更しますか？】が表示されるまで、【メニュー/Enter】ボタンを繰り返し押します。

# 1・システムの概要

---

- シートの二重検知ステータスを変更する場合は [はい] (▲) を押します。画面に変更の確認が表示されます。または、この設定を変更しない場合は [いいえ] (▼) を押して次のメニューオプションに移動します。

## インサート二重検知をオン/オフにする

このオプションを使用してインサートフィーダーの二重検知 (Insert DD) をオンまたはオフにします。

- 二重検知がオンのとき** - システムがアイテムの厚さを記録します。操作を開始して、ダブルフィードが検出されると、システムが自動的に停止します。
  - 二重検知がオフのとき** - システムは生じる可能性のあるすべての二重検知を無視します。メールジョブの実行中でインサートの稀な重複が許容できる場合、二重検知機能をオフにしておくこともできます。
- インサート二重検知のステータス [インサート二重検知オン (オフ)。変更しますか?] が表示されるまで、[メニュー/Enter] ボタンを繰り返し押します。
  - インサートの二重検知設定を変更する場合は [はい] (▲) を押します。画面に変更の確認が表示されます。または、[いいえ] (▼) を押すと次のオプションに移動します。二重検知設定は変更されません。

## 安全封かんをオン/オフにする

このオプションで安全封かんをオンまたはオフにできます。封筒のフラップが密着されない問題がある場合、このオプションをオンにしてみてください。

安全封かんはシステムの速度を若干遅くすることで、封かんサイクル中に湿気が封筒のフラップにより長い時間当てられます。一部の粘剤は適切に分解されて粘性を生じるまでに、このように追加の時間を必要とします。この機能はあらゆる種類の封筒での封かんを改善します。

- 安全封かんのステータス : [安全封かんがオン (オフ)。変更しますか?] が表示されるまで、[メニュー/Enter] ボタンを繰り返し押します。
- 安全封かんのステータスを変更する場合は [はい] (▲) を押します。画面に変更の確認が表示されます。または、[いいえ] (▼) を押して安全封かん設定を変更せずにメニューオプションを終了します。

# 2・システムの セットアップ

## 目次

準備とシートのセット	2-3
電源に接続して電源を入れる	2-3
モイストナーの充填	2-4
シートフィーダー（フィーダーA1とA2）に シートをセットする	2-5
封筒フィーダー（フィーダーB）に シートをセットする	2-6
スタッカーの取り外し/取り付け	2-8

このページは意図的に空白になっています。

### 準備とシートのセット

本章で説明する内容をご理解いただくと、システムをすばやくセットアップし、「ジョブの実行」セクションで後述するさまざまなジョブにシステムを使用することができるようになります。

**重要！**ジョブを実行する前に、公開されている仕様（「仕様」の章を参照）にマテリアルが適合していることを確認してください。これにより動作の信頼性と最大の生産性が確約されます。

### 電源に接続して電源を入れる

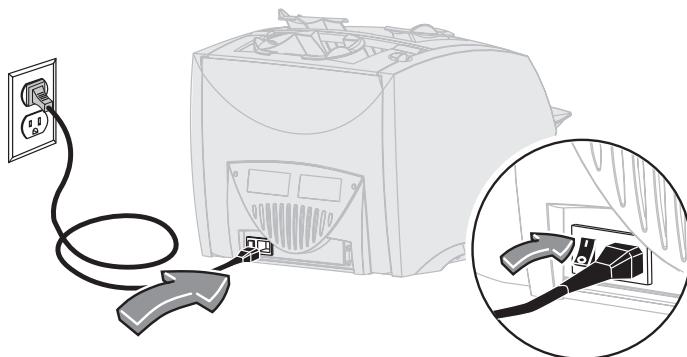
**警告！**システムを電源に接続する前に、このガイドの安全性に関する情報をすべてお読みください。

1. 電源コードをシステムの裏側にあるソケットに接続します。
2. 電源コードをアクセスしやすい電源コンセントに差し込みます。
3. 電源スイッチをオンにします。

- 数秒後、画面に「モイストナーを確認」というメッセージが表示されます。これは水位の確認を促すメッセージであり、必ずしもモイストナーの残量が少ないことを意味するものではありません。
- 「モイストナーを確認」のメッセージは、いずれかのボタンが押されるまで表示されます。

**重要！**【モイストナーを確認】メッセージは 1,000 サイクルごと、バッチの終わり、または停止ボタンが押されたときにも、確認として表示されます。

- オンにすると、システムは前回のジョブ設定を引き継ぎ、アイテムカウンターを自動的にゼロにリセットします。

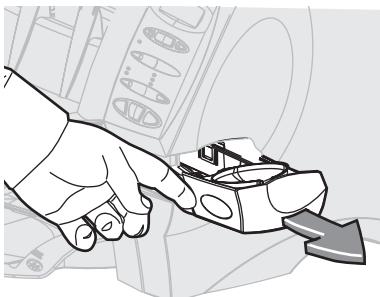


## 2・システムのセットアップ

### モイストナーの充填

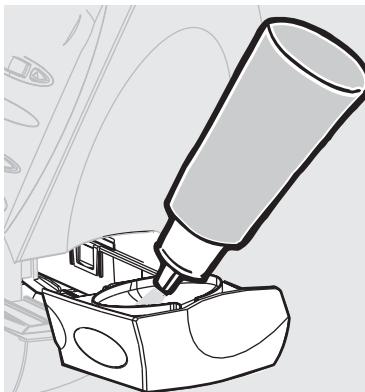
モイストナー前面の楕円形の窓から現在の水位を簡単に確認できます。液面が低くなったら、モイストナーを充填します。

1. モイストナーを右にスライドさせて引き出します。



**重要！**システムがマテリアルを処理しているときにモイストナーを開かないでください。

2. E-Z シール<sup>®</sup> 液または水を充填用漏斗の「Max」マークまで注意して入れ、モイストナーに充填します。藻の増殖や水垢の蓄積を最小限に抑えるため、E-Z シール<sup>®</sup> を使用することをお勧めします。.

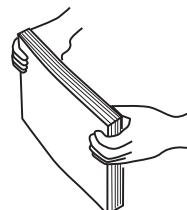


3. モイストナーをスライドしてシステムに戻します。乾燥状態からモイストナーが完全に湿って使用の準備が整うまでには約 5 分かかります。

### シートフィーダー（フィーダー A1 と A2）にシートをセットする

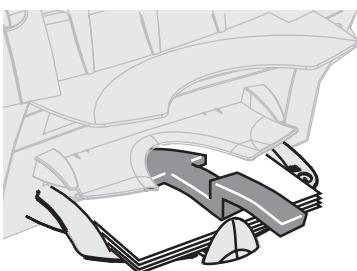
- シートフィーダー A1 は全モデルに共通で、手動フィーダー M の下方にあります。
- シートフィーダー A2 は全モデルでオプションとなっています。2 枚目の折られたシートを封筒にインサートすることができます。
- いずれのフィーダーもインサートする前に紙折りが必要なシートに使用します。
- フィーダーにシートをセットする方法はまったく同じです。

1. 常にシートはセットする前によく  
さばいてください。そうすること  
で相互の密着を回避できます。



2. シートの束を硬い表面上に当てて  
端を揃えます。

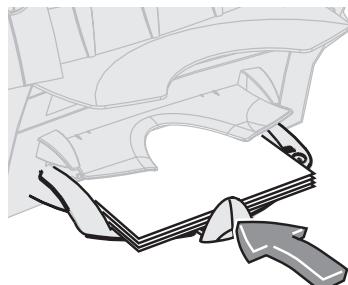
3. シートを必要に応じてシート  
フィーダー A1 または A2 に配置  
します。



**重要！**シートは常に印刷面を下にして  
下端からフィードされるようにフィー  
ダーアにセットします。シートの下端が  
システム内へと挿入されます。

**注：**シートフィーダー A1 と A2 を同時に使用する場合、住所が印刷さ  
れたドキュメントをシートフィーダー A2 にセットする必要がありま  
す。住所が記載されたドキュメントをシートフィーダー A1 にセットす  
ると、住所が封筒の窓から見えなくなります。

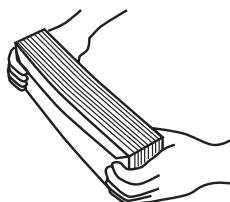
4. 用紙の束に触れるまでバックス  
トップをスライドします。



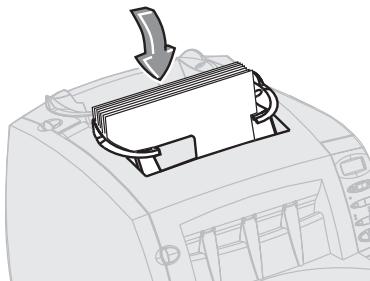
## 2・システムのセットアップ

### 封筒フィーダー（フィーダー B）にシートをセットする

1. 常に封筒はセットする前によくさばいてください。そうすることで相互の密着を回避できます。
2. 封筒の束を硬い表面上に当てて端を揃えます。

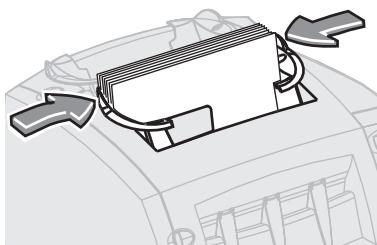


3. 最後の封筒をフィードベルトに平らに当てて封筒の束をフィーダー B に配置します。封筒の束を「重ね置き」する（ずらして置く）必要はありません。フィーダーには封筒を 60 枚までセットできます。



**重要！**封筒は正しい上下の向きで表を向けてセットします。つまり、封筒のフラップが封筒裏側の上部に位置します。他の方向にすると、適切にインサートできなくなります。

4. 2 つのサイドガイドを封筒の束までスライドさせてから若干戻します。それらを動かすときはガイドの後ろにある青色のハンドルを使用します。

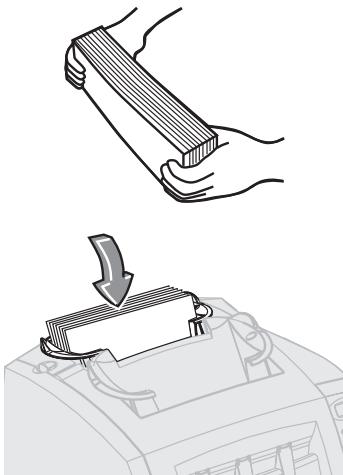


**重要！**ガイドがシステムへのフィードを妨げたり、フィードがずれたり、歪んだりしなければ、正しく設定されています。

### インサートフィーダー（フィーダーC）に封筒をセットする

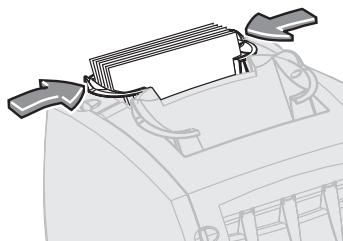
システムにインサートフィーダーCがある場合、このフィーダーを使用して、機器による紙折りを必要としない追加のインサートを封筒に挿入できます。フィーダーCは折り済みまたは、返信用封筒（BRE）、返信用はがきなどより厚いインサートのフィードに特に適しています。

1. 常にインサートはセットする前によくさばいてください。そうすることで相互の密着を回避できます。
2. インサートの束を硬い表面上に当てて端を揃えます。
3. インサートの束をフィーダーCに配置します。



#### 重要！

- 折り済みインサートの場合、「折り端」からフィードするようにセットすることが通常最適です。
- 返信用封筒は通常正しい上下の向きで表を向けてセットできます。ただし、フィード時にフラップが引っ張られて開いてしまう場合、フラップを下にして表を向け、封筒をセットしてみてください。
- 2つのサイドガイドをインサートの束までスライドさせて若干戻します。それらを動かすときはガイドの後ろにある青色のハンドルを使用します。



**重要！**ガイドがシステムへのフィードを妨げたり、フィードがずれたり、歪んだりしなければ、正しく設定されています。

## 2・システムのセットアップ

---

### スタッカーの取り外し/取り付け

スタッカーを取り外すには：

1. スタッカーを上に少し回します。
2. スタッカーをシステムから引き抜きます。



スタッカーを取り付けるには：

1. マウント用スタッドにスタッカーの旋回軸を配置します。
2. スタッカーがカチッと収まるまでそっと押します。

# 3・ジョブの実行

## 目次

ジョブの実行 .....	3-3
すべてのモデル .....	3-3
インサートフィーダーを使用したモデル .....	3-3
オプションの第 2 シートフィーダーを 使用したモデル .....	3-4
インサートフィーダーと第 2 シート フィーダーを使用したモデル .....	3-5
手動フィーダー M .....	3-16

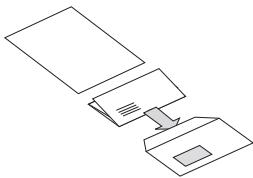
このページは意図的に空白になっています。

## ジョブの実行

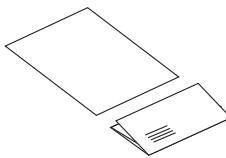
このセクションは、お使いになる方がシステムの機能とコントロールパネルの使用について理解しているものと仮定しています。Relay 1000, 1000-R で実行できるさまざまなジョブを示す画像と、各ジョブを設定・実行するための簡単な手順を記載した表が含まれています。

### すべてのモデル

ジョブ 1



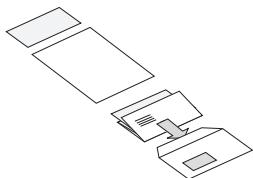
ジョブ 2



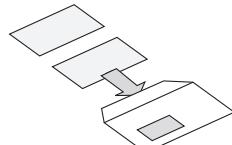
- ・ 折られたシート 1 枚
  - ・ 封筒の中へ
- ・ 折られたシート 1 枚
  - ・ 封筒なし

### インサートフィーダーを使用したモデル

ジョブ 3



ジョブ 4

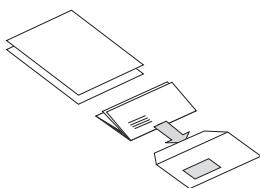


- ・ 折られたシート 1 枚
  - ・ インサート 1 枚
  - ・ 封筒の中へ
- ・ インサート 1 枚
  - ・ 封筒の中へ

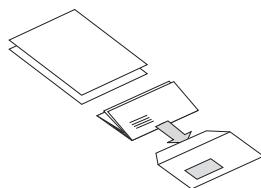
### 3・ジョブの実行

#### オプションの第2シートフィーダーを使用したモデル

ジョブ5



ジョブ6

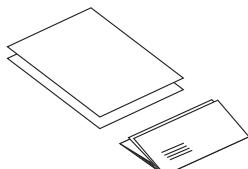


- 折られたシート 2枚
- 1枚の封筒の中へ

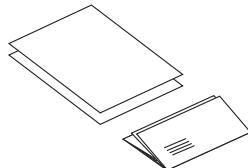
- 丁合い済みの折られたシート 2枚
- 1枚の封筒の中へ

\* 次ページの「注」を参照

ジョブ7



ジョブ8



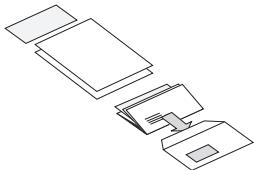
- 折られたシート 2枚
- 封筒なし

- 丁合い済みの折られたシート 2枚
- 封筒なし

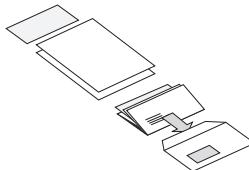
\* 次ページの「注」を参照

### インサートフィーダーと第2シートフィーダーを使用したモデル

ジョブ9



ジョブ10



- ・ 折られたシート 2枚
- ・ インサート 1枚
- ・ 封筒の中へ

- ・ 丁合い済みの折られたシート 2枚
- ・ インサート 1枚
- ・ 封筒の中へ

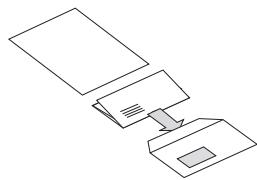
\* 下記の「注」を参照

**注**：アスタリスク (\*) が表示されたジョブは第2シートフィーダー、A2を「ページ2」のモードで使用して2枚の丁合い済みセットをフィードします。丁合い順（ページ1、ページ2、ページ1、ページ2など）に従ってシートをフィーダーにセットする必要があります。

## 3・ジョブの実行

### ジョブ 1

- 折られたシート 1 枚
- 封筒の中へ
- 必要な構成：任意の Relay 1000,1000-R

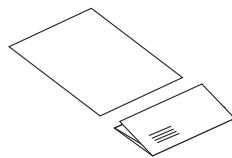


**注：**システムにオプションの第 2 シートフィーダー A2 がある場合、以下のステップ 1～3 の説明に従ってセットし、選択することで、それを A1 の代わりに使用することができます。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注：</b> 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	[11 インチ] または [14 インチ] を選択します。
2	シートフィーダー A1 にシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	封筒をフィーダー B にセットします。	正しい上下の向きで表を向けてセットします。
4	ボタンを押して [フィーダー A1] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
5	ボタンを押して [封筒フィーダー B] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
6	ボタンを押して [封かん] または [封かんなし] を選択します。	モイストナーに E-Z シール® または水が入っていることを確認します。
7	[トライアル] ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
8	[開始] ボタンを押してジョブを実行します。	[停止] ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## ジョブ 2

- 折られたシート 1 枚
- 封筒なし
- 必要な構成：任意の Relay 1000, 1000-R



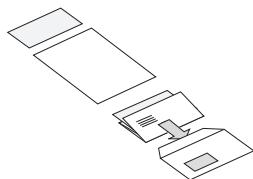
**注：**システムにオプションの第 2 シートフィーダー A2 がある場合、以下のステップ 1～3 の説明に従ってセットし、選択することで、それを A1 の代わりに使用することができます。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注：</b> 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	[11 インチ] または [14 インチ] を選択します。
2	シートフィーダー A1 にシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	ボタンを押して [フィーダー A1] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
4	ボタンを押して [紙折りのみ] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
5	[トライアル] ボタンを押してトライアルを確認します。	紙折りが良好かトライアルをチェックします。
6	[開始] ボタンを押してジョブを実行します。	[停止] ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## 3・ジョブの実行

### ジョブ 3

- 折られたシート 1 枚
- インサート 1 枚
- 封筒の中へ
- 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、インサートフィーダー C あり

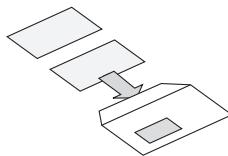


**注:** インサートは折り済みシート、または返信用封筒、返信用はがき、類似のアイテムなどの紙折りしないアイテムです。システムにオプションの第 2 シートフィーダー A2 がある場合、以下のステップ 1 ~ 4 の説明に従ってセットし、選択することで、それをフィーダー A1 の代わりに使用することができます。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注:</b> 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	<b>[11 インチ]</b> または <b>[14 インチ]</b> を選択します。
2	シートフィーダー A1 にシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	封筒をフィーダー B にセットします。	正しい上下の向きで表を向けてセットします。
4	インサートをインサートフィーダー C にセットします。	セット方向はアイテムにより異なります。
5	ボタンを押して <b>[フィーダー A1]</b> を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
6	ボタンを押して <b>[封筒フィーダー B]</b> と <b>[インサートフィーダー C]</b> を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
7	ボタンを押して <b>[封かん]</b> または <b>[封かんなし]</b> を選択します。	モイストナーに E-Z シール® または水が入っていることを確認します。
8	<b>[トライアル]</b> ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
9	<b>[開始]</b> ボタンを押してジョブを実行します。	<b>[停止]</b> ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## ジョブ 4

- ・ インサート 1 枚
- ・ 封筒の中へ
- ・ 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、インサートフィーダー C あり



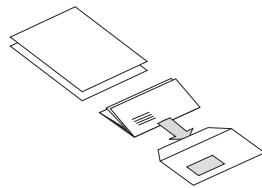
注: インサートは折り済みシート、または返信用封筒、返信用はがき、類似のマテリアルなどの紙折りしないアイテムです。

ステップ	アクション	ヒント
1	封筒をフィーダー B にセットします。	正しい上下の向きで表を向けてセットします。
2	インサートをインサートフィーダー C にセットします。	セット方向はアイテムにより異なります。
3	ボタンを押して [封筒フィーダー B] と [インサートフィーダー C] を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
4	両方のフィーダーと [ページ 2] がオフになるまで [A1/A2] 選択ボタンを押します。	A1 または A2 あるいはページ 2 のいずれのライトも点灯していないことを確認します。
5	ボタンを押して [封かん] または [封かんなし] を選択します。	モイストナーに E-Z シール® または水が入っていることを確認します。
6	[トライアル] ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
7	[開始] ボタンを押してジョブを実行します。	[停止] ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## 3・ジョブの実行

### ジョブ 5

- 折られたシート 2 枚
- 1 枚の封筒の中へ
- 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、オプションのシートフィーダー A2 あり

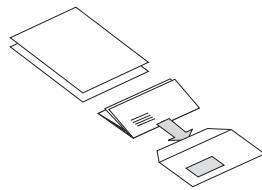


**注** : 住所が記載されたドキュメントをシートフィーダー A2 から、紙折りが必要な 2 枚目のシートをシートフィーダー A1 からフィードします。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注</b> : 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	[11 インチ] または [14 インチ] を選択します。
2	シートフィーダー A2 に住所が記載されたシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	シートフィーダー A1 に 2 枚目のシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
4	封筒をフィーダー B にセットします。	正しい上下の向きで表を向けてセットします。
5	ボタンを押して [フィーダー A1 と A2] を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
6	ボタンを押して [封筒フィーダー B] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
7	ボタンを押して [封かん] または [封かんなし] を選択します。	モイストナーに E-Z シール® または水が入っていることを確認します。
8	[トライアル] ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
9	[開始] ボタンを押してジョブを実行します。	[停止] ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## ジョブ 6

- 丁合い済みの折られたシート 2 枚
- 1 枚の封筒の中へ
- 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、オプションのシートフィーダー A2 あり



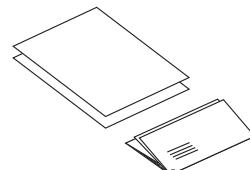
**注** : このジョブは第 2 シートフィーダー A2 を「ページ 2」のモードで使用して 2 枚の丁合い済みセットをフィードします。丁合い順（ページ 1、ページ 2、ページ 1、ページ 2 など）に従ってシートをフィーダーにセットします。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注</b> : 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	【11 インチ】または【14 インチ】を選択します。
2	シートフィーダー A2 にシートをセットします。（セットする順序については上の注を参照してください。）	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	封筒をフィーダー B にセットします。	正しい上下の向きで表を向けてセットします。
4	ボタンを押して【フィーダー A2 とページ 2】を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
5	ボタンを押して【封筒フィーダー B】を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
6	ボタンを押して【封かん】または【封かんなし】を選択します。	モイストナーに E-Z シール® または水が入っていることを確認します。
7	【トライアル】ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
8	【開始】ボタンを押してジョブを実行します。	【停止】ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## 3・ジョブの実行

### ジョブ 7

- 折られたシート 2 枚
- 封筒なし
- 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、オプションのシートフィーダー A2 あり

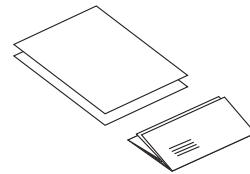


**注** : 住所が記載されたドキュメントをシートフィーダー A2 から、紙折りが必要な 2 枚目のシートをシートフィーダー A1 からフィードします。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注</b> : 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	[11 インチ] または [14 インチ] を選択します。
2	シートフィーダー A2 に住所が記載されたシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	シートフィーダー A1 に 2 枚目のシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
4	ボタンを押して [フィーダー A1 とフィーダー A2] を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
5	ボタンを押して [紙折りのみ] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
6	[トライアル] ボタンを押してトライアルを確認します。	紙折りが良好かトライアルをチェックします。
7	[開始] ボタンを押してジョブを実行します。	[停止] ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## ジョブ 8

- ・ 丁合い済みの折られたシート 2 枚
- ・ 封筒なし
- ・ 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、オプションのシートフィーダー A2 あり



**注 :** このジョブは第 2 シートフィーダー A2 を「ページ 2」のモードで使用して 2 枚の丁合い済みセットをフィードします。丁合い順（ページ 1、ページ 2、ページ 1、ページ 2 など）に従ってシートをフィーダーにセットします。

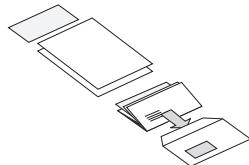
ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注 :</b> 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	[11 インチ] または [14 インチ] を選択します。
2	シートフィーダー A2 にシートをセットします。セットする順序については上を参照してください。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	ボタンを押して [フィーダー A2 とページ 2] を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
4	ボタンを押して [紙折りのみ] を選択します。	ライトが緑色であることを確認します。
5	[トライアル] ボタンを押してトライアルを確認します。	紙折りが良好かトライアルをチェックします。

### 3・ジョブの実行

6	<b>[開始]</b> ボタンを押してジョブを実行します。	<b>[停止]</b> ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。
---	-------------------------------	---------------------------------------

#### ジョブ 9

- 折られたシート 2 枚
- インサート 1 枚
- 封筒の中へ
- 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、インサートフィーダー C とオプションのシートフィーダー A2 あり



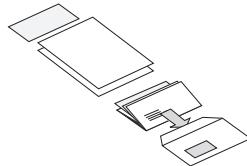
**注** : 住所が記載されたドキュメントをシートフィーダー A2 から、紙折りが必要な 2 枚目のシートをシートフィーダー A1 からフィードします。インサートは折り済みシート、または返信用封筒、返信用はがき、類似のマテリアルなどの紙折りしないアイテムです。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注</b> : 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	<b>[11 インチ]</b> または <b>[14 インチ]</b> を選択します。
2	シートフィーダー A2 に住所が記載されたシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	シートフィーダー A1 に 2 枚目のシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
4	封筒をフィーダー B にセットします。	正しい上下の向きで表を向けてセットします。
5	インサートをインサートフィーダー C にセットします。	セット方向はアイテムにより異なります。
6	ボタンを押して <b>[フィーダー A1 とフィーダー A2]</b> を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
7	ボタンを押して <b>[封筒フィーダー B]</b> と <b>[インサートフィーダー C]</b> を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
8	ボタンを押して <b>[封かん]</b> または <b>[封かんなし]</b> を選択します。	モイストナーに E-Z シール® または水が入っていることを確認します。

9	【トライアル】ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
10	【開始】ボタンを押してジョブを実行します。	【停止】ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

## ジョブ 10

- 丁合い済みの折られたシート 2 枚
- インサート 1 枚
- 封筒の中へ
- 必要な構成 : Relay 1000, 1000-R、インサートフィーダー C とオプションのシートフィーダー A2 あり



**注** : このジョブは第 2 シートフィーダー A2 を「ページ 2」のモードで使用して 2 枚の丁合い済みセットをフィードします。丁合い順（ページ 1、ページ 2、ページ 1、ページ 2 など）に従ってシートをフィーダーにセットします。インサートは折り済みシート、または返信用封筒、返信用はがきなどの紙折りしないアイテムです。

ステップ	アクション	ヒント
1	用紙サイズの設定が正しいことを確認します。 <b>注</b> : 一部のモデルでこの設定が利用できないことがあります。	【11 インチ】または【14 インチ】を選択します。
2	シートフィーダー A2 に住所が記載されたシートをセットします。セットする順序については上の注を参照してください。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
3	シートフィーダー B に 2 枚目のシートをセットします。	印刷面を下にして下端からフィードされるようにセットします。
4	インサートをインサートフィーダー C にセットします。	セット方向はアイテムにより異なります。
5	ボタンを押して【フィーダー A2 とページ 2】を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。
6	ボタンを押して【封筒フィーダー B】と【インサートフィーダー C】を選択します。	両方の緑色ライトが点灯したことを確認します。

## 3・ジョブの実行

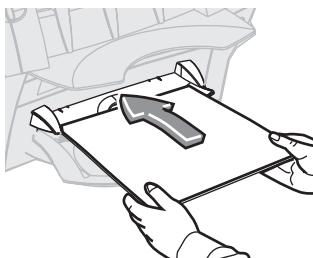
7	ボタンを押して【封かん】または【封かんなし】を選択します。	モイストナーにE-Zシール®または水が入っていることを確認します。
8	【トライアル】ボタンを押してトライアルを確認します。	トライアルでは封かんされませんが、これは正常な動作です。
9	【開始】ボタンを押してジョブを実行します。	【停止】ボタンでサイクルの終わりにシステムを停止できます。

### 手動フィーダー M

Relay 1000, 1000-R モデルには、ホチキス留めした 20 ポンド (80 g/m<sup>2</sup>) のボンド 3 枚までのセットをフィードできる手動フィーダーがあります。セットは手で 1 セットずつフィードしてシステムに処理させます。手動フィーダーを使用するとき、両方のシートフィーダーが自動的にオフになります。しかし、封筒、インサート、紙折りのみ、シーラーと組み合わせて手動フィーダーを使用することで、手動で多様なジョブを実行できます。

手動フィーダーを使用するには、次の手順に従います。

1. 実行するジョブの通常通りの方法でシステムをセットアップします。シートフィーダー A1 および (または) A2 のライトで表示される選択はシステムに無視されます。その他すべての選択が手動ジョブに適用されます。
2. ホチキス留めしたセットを 1 部印刷面を下にして下端からフィードされるように、手動フィードスロットに丁寧にフィードします。システムが自動的にスタートし、セットを取り込みます。セットが処理されると通常通りスタッカーに排紙されます。



#### 注 :

- ・ セットは真っ直ぐ、丁寧にシステムにフィードしてください。角度が付いていたり、力を入れてフィードしたりすると不適切な紙折りや紙詰まりが起こることがあります。
- ・ 最初のセットは、封かんするように設定されていても封かんされません。この「トライアル」機能により処理されたジョブを確認でき、すべてが正しくインサートされ、住所が封筒に表示されるように確認できます。



**注意！3 シートを超えるセットをフィードするとシステムが損傷する恐れがあります。**

# 4・紙詰まり解消

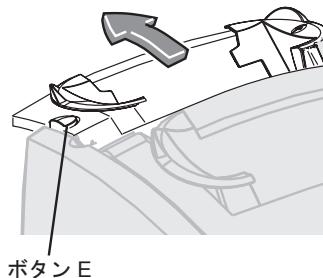
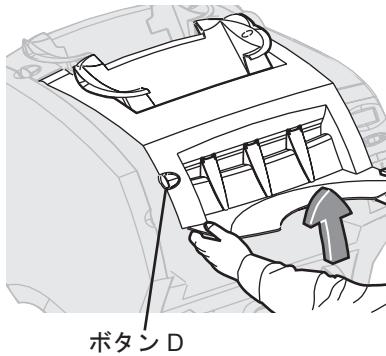
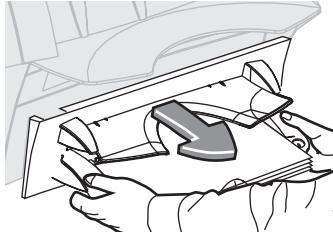
## 目次

紙詰まり解消 ..... 4-3

このページは意図的に空白になっています。

## 紙詰まり解消

1. 画面に表示された問題のあるフィーダーから紙をすべて取り除きます。
  2. 必要に応じて、問題のあるフィーダーから用紙を取り出します。
- 画面にシートフィーダーまたは手動フィーダーエリアの紙詰まりが表示された場合、図に示すようにインサーターからフィーダーアセンブリを引き、詰まっている紙を慎重に取り除きます。
  - 画面にカバーD下の紙詰まりが表示された場合、Dのマークが表示された青いボタンを押してカバーをリリースします。スタッカーライドのつまみを使用してカバーを持ち上げ、詰まっている紙を慎重に取り除きます。
  - カバーを閉じるときは、つまみを押すか、封筒フィーダー前面のカバー中央部を押してしっかりと閉じます。スタッカーボタンを押さないでください。
  - 画面にカバーE下の紙詰まりが表示された場合、Eのマークが表示された青いボタンを押してカバーをリリースします。カバーを後ろに押して完全にアクセスできるようにしてから、詰まっている紙を慎重に取り除きます。



このページは意図的に空白になっています。

# 5・トラブル シューティング およびエラー メッセージ

## 目次

一般的なトラブルシューティング .....	5-3
エラーメッセージ .....	5-5

このページは意図的に空白になっています。

## 一般的なトラブルシューティング

問題	解決方法
不適切な紙折り ミシン目からずれて別の折り目が作られ、若干曲げられて3つめの折り目ができ、「箱折り」が形成される。	<ol style="list-style-type: none"> <li>システムの紙折りを若干調整します。</li> <li>トライアルを実行し、紙折りを検査します。</li> <li>まだ箱折りが生じる場合、詳細メニューーションを開き、[窓内の住所を移動]を選択します。</li> <li>設定をより高くまたはより低く変更し、トライアルを再度実行します。</li> <li>紙折りを再検査し、必要に応じて、箱折りが生じなくなるまで[窓内の住所を移動]機能を調整します。</li> </ol>
システムが、実際に発生していないダブルフィードのために停止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいマテリアルが元のマテリアルよりもやや厚いまたは薄い場合、トライアルを実行して新しいマテリアルに合わせてシステムを再調整します。</li> <li>または、インサートの稀な重複を許容できる場合、二重検知機能をオフにすることもできます。</li> </ul>
ダブルフィードが発生してもシステムが停止しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>二重検知機能がオンになっているか確認します。</li> <li>トライアルを実行します。これにより二重検知機能が自動的に設定されます。</li> </ol>
封筒ラップが封かんされない。	<p>次のいずれか、またはすべてを試してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[封かん]が選択されていることを確認します（緑色のライトが点灯）。</li> <li>モイストナーが空になっていないことを確認します。</li> <li>安全封かんモードを選択します。</li> </ul>
住所の位置が不適切、または封筒窓から住所が見えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住所が記載されたシートが適切にセットされているか確認します。</li> <li>住所が記載されたシートがシートフィーダーA2（取り付けられている場合）にセットされているか確認します。</li> <li>住所の位置を調整します。</li> </ul>

## 5・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

問題	解決方法
インサートまたは返信用封筒がインサートフィーダーから適切にフィードされない。	<p>インサートスタックの向きを変更するとよい場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>折り済みインサートの場合、折り端からフィードするようにセットすることが通常最適です。</li><li>返信用封筒は通常正しい上下の向きで表を向けてセットできます。ただし、フィード時にフラップが引っ張られて開いてしまう場合、フラップを下にして表を向け、セットしてください。</li></ul>
シートフィーダー2を取り付けた後、システムが機能しない。	システムがシートフィーダー2に正しく固定されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>システムの電源を切り、数秒待ってから再度電源を入れます。</li><li>シートフィーダー2の電気コネクタにゴミ（埃、紙片など）が付着している場合取り除きます。</li></ul>

# トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・5

## エラーメッセージ

メッセージ	原因と修正
A1 からシートを取り除いてください	シートフィーダー A1 からシートをフィードできませんでした。 1. A1 から紙を取り除きます。 2. 紙をセットし直して操作を開始します。
D と E からすべて取り除いてください	紙折りプレート 1 または封入エリア付近の紙詰まりが原因である可能性があります。 1. 前面カバー D を開きます。 2. エリアからマテリアルを取り除きます。 3. カバー D を閉めます。 4. 背面カバー E を開きます。 5. エリアからマテリアルを取り除きます。 6. 背面カバー E を閉じて操作を開始します。
M と D からすべて取り除いてください	手動フィーダー M から正常にフィードできませんでした。 1. 手動フィーダー M にマテリアルがあれば取り除きます。 2. 前面カバー D を開き、マテリアルを取り除きます。 3. 前面カバー D を閉じます。 4. 紙をセットし直して操作を開始します。
NVM エラー サービス担当者に連絡してください	これはシステムソフトウェアの回復不能なエラーです。ピツニーボウズにサポートを依頼してください。
インサートで住所を移動できません	ジョブ設定でシートフィーダーが選択されていません。このメッセージから 2 秒後に画面が自動的にタイムアウトし、二重検知オン/オフメニュー機能が表示されます。

## 5・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

メッセージ	原因と修正
インサートダブルフィード	インサートフィーダーからのダブルフィードが検出されました。 1. カバー D を持ち上げます。 2. マテリアルを取り除きます。 3. インサートをセットし直して操作を開始します。
インサートフィーダー C をセットしてください	インサートフィーダー C が空になっています。 インサートをセットし直して操作を開始します。
インサートフィーダー C を確認/クリアしてください	インサートがフィードに失敗しました。 1. インサートフィーダー C のサイドガイドが正しくセットされているか確認します。 2. フィーダー C に紙をセットし直して操作を開始します。
エリア A1 と D を確認してください	シートフィーダー A1 とカバー D 下のエリア間の紙詰まりが解消されているか確認します。 1. シートフィーダー A1 の紙を取り除きます。 2. 前面カバー D を開き、システムにマテリアルが詰まっていないか確認します。 3. 前面カバー D を閉じます。 4. 紙をセットし直して操作を開始します。
エリア A1、A2、D を確認してください	シートフィーダー A1、A2 とカバー D 下のエリア間の紙詰まりが解消されていない可能性があります。 1. シートフィーダー A1 と A2 の紙を取り除きます。 2. 前面カバー D を開き、システムにマテリアルが詰まっていないか確認します。 3. 前面カバー D を閉じます。 4. 紙をセットし直して操作を開始します。

## トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・5

メッセージ	原因と修正
カバー D を持ち上げて封筒を取り除いてください	<p>カバー D 下の封筒の紙詰まりを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前面カバー D を開きます。</li> <li>封筒を取り除いて、操作を開始します。封筒がない場合 : <ul style="list-style-type: none"> <li>フィーダーにあるすべてのマテリアルを取り除きます。</li> <li>紙をセットし直して操作を開始します。</li> </ul> </li> </ol>
カバー D を持ち上げてすべて取り除いてください	<p>封入エリア内または付近に紙詰まりがある、または以前の紙詰まりが正しく解消されていません。センサーに埃が付着していることが原因の場合もあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前面カバー D を開きます。</li> <li>システム内のマテリアルを取り除きます。</li> <li>エリアに蓄積した埃を取り除きます。</li> <li>カバー D を閉じて操作を開始します。</li> </ol>
カバー D を閉めてください	前面カバー D が開いていることが検出されました。カバー D が適切に閉じられていることを確認します。
カバー E を閉めてください	前面カバー E が開いていることが検出されました。カバー E が適切に閉じられていることを確認します。
カバー E を開いてすべて取り除いてください	<p>カバー E 下の紙詰まりを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>カバー E を開きます。</li> <li>システム内のマテリアルを取り除きます。</li> <li>背面カバー E を閉じて操作を開始します。</li> </ol>
システムエラー、サービスに連絡してください	これは回復不能なシステムエラーです。ピツニーボウズにサポートを依頼してください。
システムエラーです、電源を入れて/切ってください	<ol style="list-style-type: none"> <li>システムの電源をきります。</li> <li>1分ほど待ってから再度電源を入れます。</li> </ol>

## 5・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

メッセージ	原因と修正
シートフィーダーA1を確認してください	シートフィーダーA1に紙がなく、フィードに失敗したか、エリアの紙詰まりが解消されていません。 1. シートフィーダーA1の紙を取り除きます。 2. 紙をセットし直して操作を開始します。
シートフィーダーA2を確認してください	シートフィーダーA2に紙がなく、フィードに失敗したか、エリアの紙詰まりが解消されていません。 フィーダーに紙がある場合： 1. シートフィーダーA2の紙を取り除きます。 2. 紙をセットし直して操作を開始します。 フィーダーが空の場合、紙をセットします。
シートフィーダーA2を確認してください  カバーDを持ち上げてすべて取り除いてください	シートフィーダーA2とカバーD下のエリア間に紙詰まりが検出されました。 1. 前面カバーDを開き、内部のマテリアルをすべて取り除きます。 2. 前面カバーDを閉じます。 3. シートフィーダーA2からマテリアルを取り除きます。 4. 紙をセットし直して操作を開始します。
スタッカーエリアをクリアしてください	スタッカーエリアの紙詰まりを確認します。 1. スタッカーエリアからマテリアルを取り除きます。 2. 操作の実行を再開します。
ダブルフィード、フィーダーA1を確認してください	シートフィーダーA1からのダブルフィードが検出されました。 1. シートフィーダーA1の紙を取り除きます。 2. 紙をセットし直して操作を開始します。
ダブルフィード、フィーダーA2を確認してください	シートフィーダーA2からのダブルフィードが検出されました。 1. シートフィーダーA2の紙を取り除きます。 部分的にフィードされたシートも確実に取り除きます。 2. 紙をセットし直して操作を開始します。

## トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・5

メッセージ	原因と修正
フィーダー A1 トレイを入れ直してください	シートフィーダー A1 が完全に押し込まれているか確認します。
フィーダー M をクリアしてください	システムの電源投入または操作の実行開始前に手動フィーダー M がブロックされました。 1. フィーダーにマテリアルがある場合、それを取り除きます。 2. システムを再起動します。
封筒をセットしてください	フィーダー B の封筒がなくなった、または封筒のフィードが失敗した、または遅かった可能性があります。 1. 封筒がセットされていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>封筒がない場合、セットし直して操作を開始します。</li> <li>封筒がセットされている場合、フィーダー B のサイドガイドが狭すぎないか、60 枚を超える封筒がセットされているか確認します。</li> </ul> 2. フィーダー B に紙をセットし直して操作を開始します。
紙折りのみ 要シート	紙折りのみが選択されましたが、フィーダー A1 または A2 (該当する場合) からのいずれも選択されていません。この状態でシートフィーダー A1 のライトは赤色になります。希望のフィーダーが選択されるまで、シートフィーダー選択ボタンを押します。
要シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒が選択されていますが、シートフィーダーが選択されていません。</li> <li>シートフィーダー A1 と封筒のライトが赤色になります。</li> </ul> 希望のフィーダーが選択されるまで、シートフィーダー選択ボタンを押します。

このページは意図的に空白になっています。

# 6・仕様

## 目次

仕様 - 米国 .....	6-3
マテリアルの仕様 - 米国 .....	6-3
システムの仕様 - 米国 .....	6-5
仕様 - グローバル .....	6-6
マテリアルの仕様 - グローバル .....	6-6
システムの仕様 - グローバル .....	6-8

このページは意図的に空白になっています。

## 仕様 - 米国

### マテリアルの仕様 - 米国

#### シートフィーダー A1 および (または) A2

シートサイズ : レター (8-1/2 x 11 インチ) またはリーガル  
(8-1/2 x 14 インチ)

用紙重量 : 20 ~ 24 lb.ボンド

容量 : 最大 : 20 lb. 80 枚ボンド

タイプ : 標準コピー機/レーザープリンターのボンド紙に  
適しています。穴があいた用紙、NCR、コート  
紙を使用しないでください。

#### インサートフィーダー C (オプション)

インサートサイズ : 幅 : 5 ~ 8-3/4 インチ

奥行 : 3-3/8 ~ 3-7/8 インチ

マテリアル重量 : 紙折りしていないドキュメント : 18 lb.ボンド  
~ 80 lb.カードストック

三つ折ドキュメント : 18 ~ 24 lb.ボンド

容量 : 最大 : 返信用封筒 60 枚、24 lb ボンド

タイプ : 折り済みのシングルパネルインサート、返信用  
封筒などに適しています。

### 封筒フィーダー B

封筒サイズ : 10 号専用

幅 : 9-1/2 インチ

奥行 : 4-1/8 インチ

マテリアル重量 : 18 ~ 24 lb.ボンド

容量 : 最大 : 封筒 60 枚、24 lb.ボンド

封筒のラップタイプ : エグゼクティブ (三角形) ラップ

封筒のラップ長さ : 1-1/4 インチ ~ 2-1/4 インチ

## 6・仕様

---

端の余白

内容物と封筒間の端の余白は各辺 1/4 インチ（合計 1/2 インチ）以上である必要があります。この計測値は、封筒に入れられるすべての内容物に適用されます。

高さの余白

内容物は、封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に 1/4 インチ以上の余白が必要となります。

### 手動フィーダー M

20 lb. ボンド紙最大 3 枚までのシートセット（ホチキス留めまたはホチキス留めなし）を処理できます。シートフィーダー A1 と A2 は手動フィーダーと同時に使用できません。光沢紙およびコート紙はお勧めしません。

### シーラーの容量

機器は、補充間に最大 1,000 枚の封筒を封かんできます。

### スタッカー

スタッカーの容量は、内容物を挿入済みの封筒最大 60 枚です（内容物によって異なります）。

### 用紙要件

- ・ 高品質を維持するために、用紙は適切な方法で保管してください
- ・ 推奨される保管条件：
  - 18 °C ~ 25 °C (64° F ~ 77° F)
  - 40% ~ 60% の相対湿度

## システムの仕様 - 米国

### 物理的な寸法

幅 : 17-3/8 インチ

奥行 : 20-3/4 インチ

縦 : 14-3/8 インチ、シートフィーダー 2 なし  
17-3/8 インチ、シートフィーダー 2 あり

重量 : 38 lb.

騒音レベル : 実行時 : <70dBA

電気 115V、60Hz、2.4A

スピード 毎時最大 900 サイクル

### デューティサイクル

月間最高 4,000 サイクル、月間平均 2,000 サイクル、最大寿命  
120,000 サイクル

注 : すべての仕様は予告なしに変更される場合があり、情報提供のみを目的としています。

## 6・仕様

---

### 仕様 - グローバル

#### マテリアルの仕様 - グローバル

##### シートフィーダー A1 および (または) A2

シートサイズ : DIN A4 (297mm x 210mm)  
用紙重量 : 75gsm ~ 90gsm ボンド  
容量 : 最大 : 80gsm ボンド 80 枚  
タイプ : 標準コピー機/レーザープリンターのボンド紙に適しています。穴があいた用紙、NCR、コート紙を使用しないでください。

##### インサートフィーダー C (オプション)

インサートサイズ : 幅 : 127mm ~ 225mm  
奥行 : 86mm ~ 114mm  
マテリアル重量 : 紙折りしていないドキュメント : 70gsm ボンド  
~ 200gsm カードストック  
三つ折ドキュメント : 70gsm ~ 90gsm ボンド  
容量 : 最大 : 返信用封筒 60 枚、90gsm ボンド  
タイプ : 折り込みのシングルパネルインサート、返信用封筒などに適しています。

##### 封筒フィーダー B

封筒サイズ : DL メーラー専用  
幅 : 225mm ~ 235mm  
奥行 : 110mm ~ 121mm  
マテリアル重量 : 70gsm ~ 90gsm ボンド  
容量 : 最大 : 封筒 60 枚、90gsm ボンド  
封筒のフラップタイプ : メーリングウォレット形フラップ (下図参照)



封筒のフラップ長さ : 32mm ~ 57mm

### 端の余白

内容物と封筒間の端の余白は各辺 5mm（合計 10mm）以上である必要があります。この計測値は、封筒に入れられるすべての内容物に適用されます。

### 高さの余白

内容物は、封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に 6mm 以上の余白が必要となります。

### 手動フィーダー M

80gsm ボンド紙最大 3 枚までのシートセット（ホチキス留めまたはホチキス留めなし）を処理できます。シートフィーダー A1 と A2 は手動フィーダーと同時に使用できません。光沢紙およびコート紙はお勧めしません。

### シーラーの容量

機器は、補充間に最大 1,000 枚の封筒を封かんできます。

### スタッカー

スタッカーの容量は、内容物を挿入済みの封筒最大 60 枚です（内容物によって異なります）。

### 用紙要件

- ・ 高品質を維持するために、用紙は適切な方法で保管してください
- ・ 推奨される保管条件：
  - 18 °C ~ 25 °C
  - 40% ~ 60% の相対湿度

## 6・仕様

---

### システムの仕様 - グローバル

#### 物理的な寸法

幅 :	440mm
奥行 :	440mm
縦 :	365mm、シートフィーダー 2 なし 440mm、シートフィーダー 2 あり
重量 :	17kg

**騒音レベル** 実行時 : <70dBA

**電気** 240V、50Hz、1A

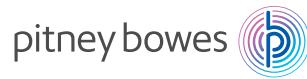
**スピード** 毎時最大 900 サイクル

#### デューティサイクル

月間最高 4,000 サイクル、月間平均 2,000 サイクル、最大寿命  
120,000 サイクル

**注** : すべての仕様は予告なしに変更される場合があり、情報提供のみを目的としています。

このページは意図的に空白になっています。



3001 Summer Street  
Stamford, CT 06926-0700  
[www.pitneybowes.com](http://www.pitneybowes.com)

SV63176-JA RevC  
© 2024 Pitney Bowes Inc.  
All Rights Reserved